



### ⑥ 津有区

- 凡例**
- 市役所
  - 居住誘導区域
  - 都市機能誘導区域
  - 誘導重点区域
  - 地域自治区
  - 人口分布 250mメッシュ
  - R2年 総人口密度
  - 40人/ha以上
  - 洪水浸水想定区域
  - 5.0m以上
  - 3.0m以上～5.0m未満
  - 0.5m以上～3.0m未満
  - 0.5m未満
  - 家屋倒壊等氾濫想定区域
  - 河川氾濫
  - 河川氾濫
  - 津波災害警戒区域
  - 内水被害警備箇所
  - 土砂災害警戒区域
  - 土砂災害特別警戒区域
  - ため池浸水想定区域
  - なだれ危険箇所
  - 垂直避難困難
  - 要配慮者施設
  - 水害緊急避難場所
  - 土砂災害緊急避難場所
  - 津波緊急避難場所

- 凶中番号凡例**
- ①-1 洪水災害(計画規模)
  - ①-2 洪水災害(想定最大規模)
  - ①-3 多段階浸水被害(降雨確率)
  - ② 土砂災害
  - ③ 津波災害
  - ④ 内水災害
  - ⑤ ため池災害
  - ⑥ なだれ災害

誘導区域内  
誘導区域外

災害リスクが高いエリア  
一定の災害リスクは存在するが、人口密度が低いエリア

※災害ハザードのうち「①-3 多段階浸水被害」は図示していません。

表 災害リスクの整理 (⑥津有区)

災害ハザード	災害リスク	含まれる誘導区域(*)			
		居	都	重	外
①-1 洪水災害 (計画規模)	区西部の市街化区域内において洪水による浸水被害のおそれがあり、人口密度が高く垂直避難が困難なエリアが見られ、エリア内に要配慮者施設も立地しており災害リスクが高い。	●	—	—	●
①-2 洪水災害 (想定最大規模)	上記計画規模と同様のエリアが拡大するとともに、区北部にも一部浸水深が 0.5m以上～3.0m未満に該当するエリアや、浸水深は 0.5m未満であるもの高齢者人口割合が高く、かつ垂直避難が困難なエリアがあり災害リスクが高い。 戸野目川、楯池川及び飯田川沿いにおいて家屋倒壊等氾濫想定区域が指定され、それに近接する一部の集落では高齢者人口割合が高く災害リスクが存在する。	●	—	—	●
①-3 多段階 浸水被害 (降雨確率)	想定最大規模では、区北西部において現況から中長期にかけて浸水深 0.5m以上の浸水想定区域が広がり、一部高齢者人口割合が高いエリアも散見されることから災害リスクが比較的高い。 浸水深 3.0m以上となる中低頻度以上の災害リスクは区内には見当たらない。	●	—	—	●
② 土砂災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
③ 津波災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
④ 内水災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
⑤ ため池災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—
⑥ なだれ災害	災害リスクは存在しない。	—	—	—	—

(\*) 居:居住誘導区域、都:都市機能誘導区域、重:誘導重点区域、外:誘導区域外、—:該当なし

### 【居住誘導区域内の災害リスクについて】

一部指定された居住誘導区域内において、洪水災害に関し浸水区域と人口密度、高齢者人口割合が高いエリア及び垂直避難困難のエリアがあり災害リスクが高い。

居住誘導区域内を流れる戸野目川沿いにおいては、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）が指定されており、高齢者人口割合が高いエリアとの重複が見られる。